

令和6年度 フェムテック等サポートサービス実証事業費補助金

あたらしいを、あたりまえに

J:COM

【最終報告会資料】



女性の健康ケアをあたりまえに *Care Of Things, Things Of Normal*

女性の健康プラットフォーム

株式会社ジェイコム九州

「女性の健康ケアを、あたりまえに。」する職場環境整備に向けた実証

①管理職向けセミナーの開催



②女性の健康プラットフォーム 「Cotton」の提供



【目標】

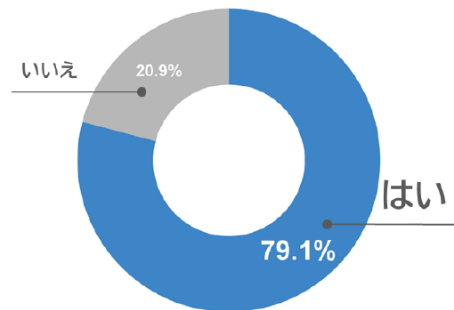
女性特有の健康課題に関するリテラシーを高めることで

- ・職場において相談ができる環境を整える
- ・女性特有の健康課題による不調での婦人科受診率を向上する

女性の健康課題による労働損失の経済損失は、社会全体で約3.4兆円※1 とされています。

当社において実施したアンケートでは、健康不調を感じたことがある女性従業員は約8割に達する一方、解決方法としては「市販薬を利用する」「我慢する」との回答が多く、女性がいきいきと安心して働くためには、女性特有の健康課題について管理職が理解し、相談ができる環境を整えること、女性自身が正しい知識を持ち、婦人科や産婦人科の受診など適切な対応を取ることが必要であると考えました。 ※1 出典：経済産業省「女性特有の健康課題による経済損失の試算と健康経営の必要性について」令和6年2月

Q:働く環境・日常生活において、自身の女性特有の健康課題における不調を感じることはありますか？



※n数=368

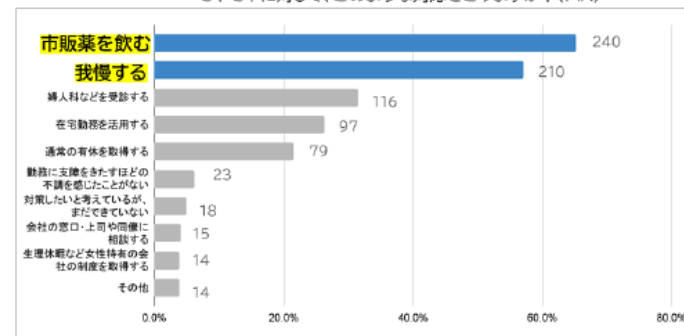
(*アンケートで「生物学的女性である」と回答された社員様を示します)

本事業では、管理職及び女性従業員が

女性特有の健康課題に関するリテラシーを高めることで、以下の実現に取り組みます。

- *働く女性がこころとからだの健康を維持
- *能力を発揮できる環境整備
- *女性の昇進希望率・管理職登用率を増加

Q:勤務するにあたり、女性特有の健康課題*の悩みや不安、モヤモヤに対して、どのような対応をとりますか？(MA)



開発・活用したフェムテック等サポートサービス

あたらしいを、あたりまえに

J:COM



Care Of Things, Things Of Normal.

女性の健康プラットフォームCottonでは、女性の健康に関する情報をお届けしています。産婦人科医の医療監修のもと作成しており、どなたでも安心してご利用いただけるサービスです。女性だけでなく、経営者・管理職を含むすべての方にご利用いただき、Cottonを通じて、女性自身と関係する大切な方の健康課題を解決する一助となることを目指しています。



Step 2

受診する

Step 1

知る

Step 3
セルフケア

掲載内容

- 女性の健康に関する情報
- みんなで学ぶ動画配信
- 婦人科・産婦人科情報
- 検診・予防接種情報
- オンライン診療
- 経営者・管理職向け
(面談サポートシート)



今回のテーマ
プレコンセプションケア



今回のテーマ
不妊治療と妊娠・産後の健康問題



今回のテーマ

女性の更年期

みんなで学ぶ動画制作・配信



プラットフォーム利用推進・協力・後援:



(一社)日本ケーブルテレビ連盟・日本ケーブルテレビ連盟九州支部

J:COM JCOM(株)

実施スケジュール

実施項目			2024年					2025年			
大項目	小項目	実施/実証先	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
セミナー	セミナー設計	㈱ジェイコム九州	→								
	管理職セミナー実施①	㈱ジェイコム九州、㈱ケーブルネット下関、JCOM㈱				*					
	管理職セミナー実施②	日本ケーブルテレビ連盟（熊本）					*				
	管理職セミナー実施③	日本ケーブルテレビ連盟（大分）					*				
	女性向けセミナー実施	㈱ジェイコム九州、㈱ケーブルネット下関						*			
	管理職セミナー実施④	日本ケーブルテレビ連盟（宮崎）							*		
	動画視聴	実証先企業各社				→					→
プラットフォーム	設計	㈱ジェイコム九州、ジーク㈱	→								
	作成	ジーク㈱				→			→		
	検証	㈱ジェイコム九州				→					
	公開	㈱ジェイコム九州					→				
	動画企画	㈱ジェイコム九州、JCOM㈱				→			→		
	動画制作	JCOM㈱					→			→	
	動画公開	JCOM㈱					*	*	*		*
										*	*
検証作業	事前アンケート①	㈱ジェイコム九州、㈱ケーブルネット下関、JCOM㈱			→						
	事前アンケート②	日本ケーブルテレビ連盟（熊本）					→				
	事前アンケート③	日本ケーブルテレビ連盟（大分）					→				
	事前アンケート④	日本ケーブルテレビ連盟（宮崎）							→		
	セミナーアンケート	実証先企業各社				→		→		→	
	事後アンケート	実証先企業各社								→	
	効果検証・分析	㈱ジェイコム九州				→				→	
											→

女性特有の健康課題への対処

婦人科の受診率を引き上げ、女性特有の健康課題に関する不調でのパフォーマンス低下を防ぐ。

目標:婦人科の受診率 31%⇒60%

職場環境の整備

管理職のリテラシー向上により、職場内で相談できる環境を整備する。

目標:相談できる環境との回答 37%⇒60%

女性の昇進意欲

パフォーマンスを低下することなくいきいきと働くことで非管理職社員が管理職への昇進希望者の増加を見込む。

目標:管理職志望者の増加

パフォーマンスの維持

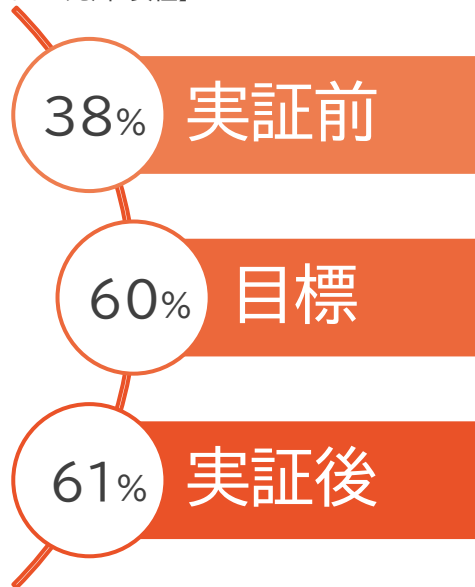
パフォーマンスを低下することなく、こころとからだの健康を維持し、いきいきと働くこと。

目標:WHO-HPQスコアが増加した女性受講者の割合70%、スコア20%増加

婦人科受診率の向上

- ・女性特有の健康課題に対して医療機関および専門家へ相談をしている女性の割合

【ジェイコム九州 女性】



▶女性従業員向けセミナーの有用性

本事業での女性従業員向けセミナーの実施対象である「ジェイコム九州 もしくは ケーブルネット下関」かつ「女性」と回答したものにおいて、下記いずれかの回答を選んだものの割合が向上した。

- ・各種専門家への相談
- ・医療機関における各種検診・検査の受診
- ・医療機関における各種治療等の実施(処方薬の内服を含む)

Q.女性特有の健康課題について、具体的にどのような行動をしていますか

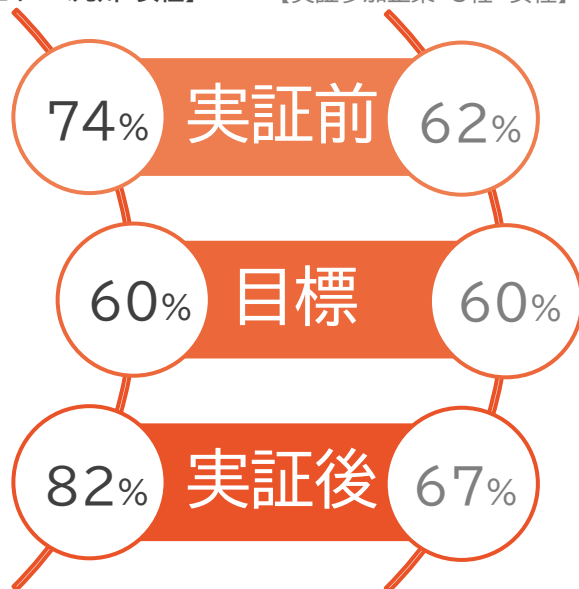
	実証前	実証後	差異
ジェイコム九州	38%	61%	23%
ケーブルネット下関	29%	57%	29%
JCOM	50%	52%	2%
大分	38%	45%	7%
熊本	50%	50%	0%
宮崎	33%	37%	3%
総計	40%	51%	11%

女性特有の健康課題に関するリテラシー向上

- ・ 職場は自身の健康や体調について相談できる環境が整っているかに対して肯定的な回答

【ジェイコム九州 女性】

【実証参加企業 5社 女性】

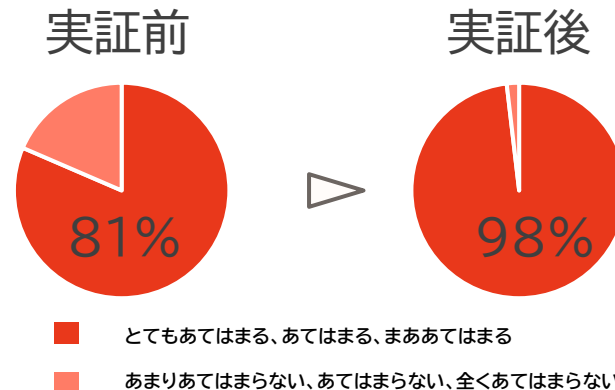


<目標値について>
本事業が採択される以前にJCOMグループ全体で実施したアンケートに基づき目標値を設定。ジェイコム九州では以前より健康リテラシー向上の取組みを行ってきたため、「実証前」のアンケート結果は当初の想定よりも肯定的な回答が多く出た。

- ▶ 管理職のリテラシー向上についても一定の成果が見られた

本実証事業での管理職向けセミナーの対象者である「ジェイコム九州」かつ「管理職」と回答したものにおいて、ほぼ全員が肯定的な回答となった。

- Q. 女性特有の健康課題を抱える同僚等に適切な配慮や支援を行うことができる



【ジェイコム九州 管理職】

実証結果 <女性の昇進意欲 / パフォーマンスの維持>

管理職志望意向

- ・管理職(すでに管理職のものは上位の役職)志望

【ジェイコム九州 女性】



【実証参加企業 5社 女性】



▶本実証期間において大きく変化は見られなかった

セミナー実施を含めた、本実証期間が各社1~5か月と短期間であったこともあり大きな変化を確認することはできなかった。

リテラシー向上と職場環境の整備が、働く女性の昇進希望率の上昇や健康課題を克服したキャリアプランニングにつながるよう、継続して検証を実施していく。

WHO-HPQスコア増加

- ・増加した女性受講者の割合

相対的プレゼンティーズムが 1.0以下の女性の割合 (パフォーマンスが低下している人の割合)

【ジェイコム九州 女性】



【実証参加企業5社 女性】



▶値の高低に関わらず相対的プレゼンティーズムが上昇した女性回答者の割合は 目標の70%に対してジェイコム九州で42%、全体で38%であった。また、その増加は20%の目標に対し8%となったが、女性自身と管理職のリテラシーの向上等がパフォーマンス低下の防止の一助となったと考える。

セミナーの開催

開催時期	参加企業・開催地	対象者	参加者数	タイトル
2024/9	ジェイコム九州 JCOM ケーブルネット下関	管理職	91名	「働く女性のヘルスケアと どう向き合うのか？」
2024/11	熊本	管理職 女性社員	34名	「もっと知ろう！女性の健康 ～ヘルスリテラシーを高めるために～」
2024/11	大分	管理職 女性社員	60名	「もっと知ろう！女性の健康 ～ヘルスリテラシーを高めるために～」
2024/12	ジェイコム九州 JCOM ケーブルネット下関	女性社員	113名	「働く女性のヘルスケアと どう向き合うのか？」
2025/01	宮崎	管理職 女性社員	37名	「女性の健康ケアを あたりまえに 女性の健康プラットフォームCotton」

2024/11公開

利用方法:アクセス制限なく、誰でも利用可能(無料)

女性社員だけでなく、経営者・管理職、男性社員にも活用いただくことを想定。



女性の健康課題に関する情報



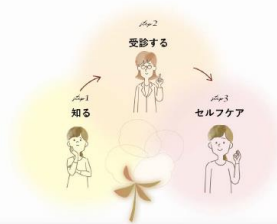
女性ホルモンの付き合い方

女性ホルモンの付き合い方

現代は「人生100年時代」といわれますが、女性が長い人生を健やかに楽しむには、

女性ホルモンについて正しく知ることが大切です。

そこで女性ホルモンの働きや変動、関係する病気や不調への 対処法についてご紹介いたします。



思春期症状



年代

8歳～18歳ごろまでの時期

生活面の注意

体・心が大きく変わる時期。スタイルを気にして急激なダイエットをすると、生理が止まってしまうことも。しっかり眠り、栄養を取り、規則正しい生活を心がけることが重要です。生理は安定するまでに個人差があり、最初のうちは少し不安定でも心配しなくて大丈夫です。

女性の健康を学ぶ動画の制作・掲載



テーマ

- ・プレコンセプションケアとは？
- ・不妊治療と妊娠・産後の健康問題
- ・女性の更年期
- ・生理トラブルとその対応
- ・女性のがんと向き合い方
- ・職場における女性のヘルスケア

プラットフォームの構築—掲載内容③

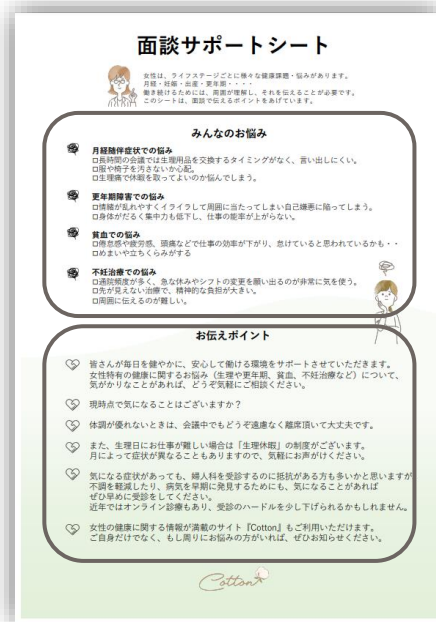
婦人科・産婦人科受診の推進



予防接種や検診情報のほか、オンライン診療の活用を掲載



管理職の面談サポートシート



■面談サポートシートの活用の流れ

Step1
仕事を行う上での具体的な悩みを知る

Step2
女性従業員への
女性特有の健康課題に関する
悩みや不安をシートに沿って
ヒアリングを行う

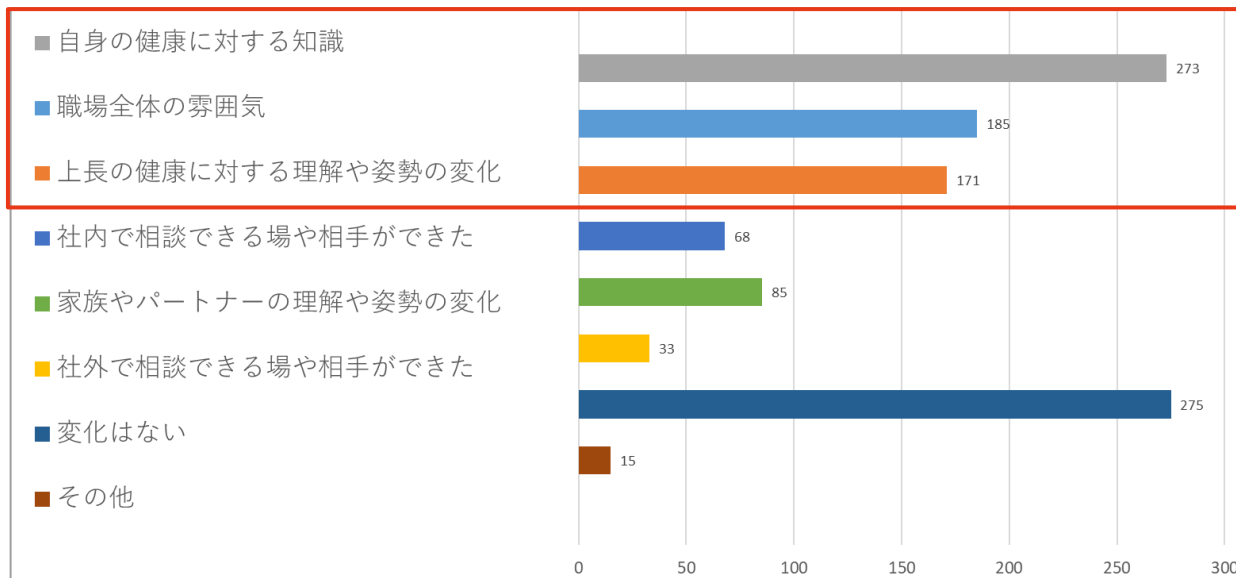
*セミナー5回開催(参加者数335人)

*女性の健康プラットフォーム公開

職場での健康や体調へ配慮するための環境で変化につながると感じるものはあるか？

▶ 実証事業の前後で何かしらの変化がある : 68%

内、管理職 : 85%



【実証参加企業 6社 ※複数回答可】

<管理職回答より>



■女性特有の健康課題を会社として、また上司として、正しく理解して、サポートしていくという姿勢が
いかに重要であるかを理解できた。

■女性の健康課題を理解し、相談できる環境をつくるのが女性の能力発揮につながることを理解できた。

<女性社員回答より>



■偏った情報に惑わされず、正しい情報を得ることの大切さを感じた。自分の体は自分で守る意識が大切だと改めて感じた。

■女性の健康リスクとその内容について統計を用いて詳しく説明いただけたので、体調に気を配って、積極的に婦人科を受診するなど行動していこうと思った。

相談ができる職場環境

74%



82%

ジェイコム九州 女性

同僚等への支援

81%



98%

ジェイコム九州 管理職

婦人科受診

38%



61%

ジェイコム九州 女性

管理職志望意向

42%



46%

ジェイコム九州 女性

管理職向け・女性従業員向けに女性の健康に関するセミナーを開催したことで、
職場環境の整備に有効であった。

女性が正しい知識を身につけることにより、婦人科の受診の必要性の理解につながった。

実証に関する課題・対応

- ✓ **健康リテラシーや相談環境の重要性の浸透**
⇒本事業での成果を維持するためには、定期的なセミナーの実施・継続的な面談実施の推進・プラットフォームを活用した情報発信が必要である。

- ✓ **管理職志望率の向上**
⇒女性従業員向けに女性の健康セミナーと合わせてキャリア研修を行い、キャリア形成を支援する。

- ✓ **管理職面談のサポートの充実**
⇒女性従業員からのヒアリング結果で対応が必要な場合のサポート体制を整備する。
(人事担当、産業医、保健師等)

- ✓ **婦人科受診のハードル(どの婦人科がよいのかわからない)**
⇒症状に応じた婦人科の探し方を充実させることで、婦人科受診につなげる(日本産婦人科医会等との連携)。

今後の事業活動について

✓ セミナーとプラットフォームの展開

今回の事業前後のアンケート結果の比較から、管理職向け及び女性従業員向けセミナー・女性の健康プラットフォームの利用により、職場環境の整備、女性の婦人科受診率向上につながる可能性が示されたため、より多くの企業・行政・団体・教育機関と連携し、セミナーの実施・プラットフォームの活用を推進する予定です。

✓ セミナーとプラットフォームの内容拡充

女性特有の健康課題を解決するために、セミナーとプラットフォームの内容の拡充を図る。

今後も管理職向けセミナーとプラットフォームの効果を最大限に活用し、職場全体で女性の健康に対する理解と職場環境の整備を目指していきます。

継続的な取り組みを通じて、全ての女性が健康で安心して働ける環境を構築することを目指し、事業活動を継続してまいります。

ご興味のある、自治体様、産婦人科様、企業様いらっしゃいましたら、ぜひお声がけいただけましたら幸いです。

あたらしいを、あたりまえに

J:COM

